

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

## グループワーク 2 B班

(総合 F) 元々のグループに残っている方にお話をします。元々のグループに残っている方は、皆さんに、この意見はこういう内容でした、ということを説明してください。

他の方は、共感する意見にシールを貼っていただきます。詳細はサブファシリテーターにお聞きください。では、2回目のグループワークを始めてください。

(サブ F) 専門家の方はブルーのシールをお持ちください。市民の方はピンクのシールをお持ちください。よろしいですか？

Bグループにお二人残られています。最初に、どんな意見が出たかをお二人に簡単に説明していただきます。簡単に説明していきますから、この中でご自分が共感できるところ、そうだなと思うところ、ほぼ考えが似ているなど思うところにシールを、付箋の下のほうにそれぞれ貼っていただけますか。付箋1枚につき1回、何枚貼っていただいても結構です。残ったお二人もシールを持って、ご自分では書かなかったけど、やはりそうだなと思うところがあったら、貼っていただいて結構です。では、お二人、お願いします。

(F) 出た意見は、イメージの話とか、言葉の話とか、物事とか、負のイメージとか、

(サブ F) シールを貼っていかないといけないので、1つずつ順番に読んでいくのがいいと思います。

(F) マスコミなどがつけたマジックだと。ムラというのは、批判するときに使われる、というような意見がひとつ。

—— それは専門家側から出たわけですね。

(サブ F) そうです。別にピンク、ブルー関係なく、同意見があったらシールを貼っていただいて結構ですから。

(F) そういう意味で、マスコミが嫌いな人にレッテルを貼るものだ、というような言葉がこの辺りに並んでいるのかもしれない。

なんでしたら、貼る時間を作りましょうか？

(サブ F) 1つずつ読んでいただいて、共感するものに貼っていただければいいのではないのでしょうか。

(F) そういうやり方ですか。分かりました。  
では、〔言葉のマジック〕だ。

—— 勝手に(自分で)読んではいけないのですか？

(サブ F) いいですよ。ご自分で全体に目を通していただいて、貼っていただいて結構です。

(F) え？ どういうやり方ですか？ 見てもらって、貼ってから何かしますか？ 進め方が分からないのですが。何か意見が多いものを集約するために2回目はやるのですか？

(サブ F) 集約はしません。

(F) それとも、ここにある付箋に貼っていただいて、それでもない意見を、

(サブ F) そうです。最初にまず貼っていただきます。その後、ここにはない意見はまた書いていただきますので。

とりあえず皆さん、そちら側に行って読んでいただいて、共感できるところにシールを貼ってください。一通り終わったら、もう1回また違う意見を書いていただきますので。

(F) では申しわけないですけど。

—— あとは、もしこれは何だ？ というのがあったら。

(サブ F) 意味が分からないものがあったら、聞いてください。(グループに残った)お二人が説明をいたします。

—— 〔政府無責任〕というのは、どういう意味ですか？

(F) 〔政府無責任〕は私が書いたのだけど、原子カムラが強調されるのは、政府が無責任ではないかと。何にもやらなくて、最後に責任を取らないのではないかと思って。

—— なるほど。

—— 専門家の方がこういうことを書かれるのは、ちょっと私は意外でした。専門家の人たちは、自分たちを守るような、これは差別だよ、みたいなことを言うかと思ったら、意外な意見があつて。

(サブ F) (1回目のグループワークでは) 意外と自虐的でした。

—— そう、自虐的なんですよ。

前の班では、専門家のご意見は、ふーんって思うようなところがあったのですけどね。

(サブ F) 何か意味が分からないようなものはありますか？

—— [カタカナがいかにも] というのはどういうことでしょうか? 「いかにも格好いい」ですか? 「いかにも自虐的」ですか?

—— 私が書いたのですが、ムラというのは、他にもいろいろ何々ムラというのはあるのですが、カタカナで書くところがちょっと、

—— それはおしゃれなのですか、はやりのものですか?

—— 逆にちょっと、色眼鏡で見ている感じで。

—— 色眼鏡。負のイメージだということですか?

(サブ F) 「マイナスのイメージ」ということですよ。追加で書いておいてください。

(シールを貼る作業)

(サブ F) 皆さんまだまだ貼っていただいて結構なのですが、先ほど、「専門家の方からこういう意見が出るのは意外だ」という感想がおありでしたよね。そういうものがありましたら、また書いてください。

—— 意外と反省しているのかしら、みたいな。

(サブ F) あるいは、前のグループでお書きになったけど、ここにはない意見がありましたら、またぜひ書いて貼っていただきたいのです。

—— 前の班でいい意見がありましたよね。すっかり忘れてしまいましたけど。

—— マスコミがつけた言い方とか、そういう感じでしたかね。攻撃したい人が使うみたいな。

—— そこが（印象に）残りましたか。

—— いろいろと残りましたけどね。

(F) 先ほどの「意外だ」というご意見は、もしかしたら、「専門家は皆ムラびとだ」と我々のほうが誤解しているかもしれないのですよ。

—— そうですね。中にはそうではない方もいたのかもしれないですね。

もしかしたら、この〔ムラびとになるとお金持ちになる〕という意見も、実際になっ  
ているからウハウハで書いたのかも（笑）。キーワードですからね、どういう意味かが分  
からない。

(F) 極端な話をしたら、このフォーラムをやっている木村先生も、ムラびと  
なのか、どうなのか。

(サブ F) それも書いていただいてもいいですよ。木村先生もムラびとかもしれない。

—— 結局、原発を推進する方々が作るグループ、というような捉え方、

(サブ F) それはありましたか。では、書きましょうか。

—— 要するに、〔原子力発電を推進する側の人たち〕。

—— 私は、〔ムラとムラの外との乖離が大〕なのかなと。

—— なんていうのかな、経産省と東電とくっついて推進する、国会で決めるようなもの  
もムラ。それから、福島県なら、福島県の県議、知事が、

—— だって、お金がすごく落ちますものね。

—— あ、落ちるんだけど、結局 20 年くらい経つと夕張みたいに破綻してしまうのです。

—— どうしてですか？ あれは、候補地に決まった瞬間から毎年お金が落ちるのですよ。建っていないうちから。調べるだけでも落ちるのですよ。

—— もちろん。

　　だいたい 2 年で 3 か月ずつくらい、中をいろいろなことをする人が来るのですよね。だから、1 基だけでは到底維持できないような状態なんですよ。

(サブ F)　今のいくつかのご意見を貼りました。ですから、これらの意見に共感される方はシールを貼っていただくのがいいんじゃないですか。

—— それでなおかつ、実際にそこに住んでいらっしゃる方たちもムラですよ。

—— だって、「正しい理解で豊かな暮らし」とが双葉町のアーケードに書いてあるっていう話ですよ。

(サブ F)　そこに、「原子力立地で生活をする人」という意見がありますよ。

—— はい。私はシールを貼りました。

—— それは小さい意味でムラ。見えるところに住んでいる方のムラ。その上の行政とすれば、地方議会があつて、国会があるから、それぞれ利益を受けている人、利益の受け具合が違うのですよね。構成する段階も。

(サブ F)　すみません。せっかくですから、皆さんにご意見を言っていただいたほうがいいので、順番に回しましょう。

—— 確かに自虐的な意見が多いですね。

—— A 班とはまた違いますね。

—— C 班とも全然違います。

—— 「ムラびとになるとお金持ちになる」は全力で否定したいです。

(サブ F) これは穿った考えでお書きになったわけではないと思うのですよ。結構自虐的な感じで。

—— ただ、専門家の意見だということが、すごく気になります。書いた人はお金持ちだったのかもしれないけど。

—— これはその人がお金持ちになっているわけではなくて、

(サブ F) イメージですよ。

—— ああ、金持ちだと（周りから）思われているだろう、という意味ですか。ああ、それは確かに。

(サブ F) では次の方、何かご意見がありましたら。

—— 私が前のグループで言ったのは、被ばくに対して鈍感であるということです。原子力ムラは推進して、何ミリシーベルトは大丈夫です、大丈夫ですと言っている。国の基準の決め方でも、安全ありきにすぎているかなと思います。唯一の被爆国なのに、なぜこんなことをして、後手後手にしたのかな。原子力ムラの中で、事故なんかまさか起こるとは思っていなかった、チェルノブイリがあっても日本では起こらないと思っていちゃったというところが、乖離している。起こってしまった後は、全然手を打ってくれない。内部被ばくとか、土壌の汚染とか、海洋汚染とか。

私は外国のお嬢さん方のホストファミリーをしているのですよ。皆、日本のシーフードは食べないのです。オーストラリアではシーフードを食べるけれども、日本に来たらシーフードは食べない。親がたぶん言って聞かせているんだと思うのですよね。それくらいに扱われているということですね。

(サブ F) 最初におっしゃった放射線に対してのご意見がここにはありませんから、書いていただけますか。

では、次の方、これらの意見を見て、なにかありますか。

—— うーん。先ほどのグループでも言ったのですが、結局原子力というものが何か分からないから、原子力ムラという便利な言葉があるのかなと。他とは関わりがないから、原子力の業界だけが浮いた感じになってきて、周りからムラだと思われる。

利益に関しても、結局原子力のムラの中でぐるぐる回るようになっていて、原子力発電所を誰かに売るとかそういうことではなくて、メーカーは電力さんに売って、電力さんは国

に申請する。そういうふうに、ぐるぐる回るような体制になっているから、外から見たときに何も分からないような状況になっているから、原子カムラだと言われるのではないかと思いました。

(サブ F) そのキーワードは、ここに出ていますか？

—— キーワードは何なのか、自分でもよく分からないのですけど。

(サブ F) 例えば、[閉鎖的]とか。それ以外でもっといい言葉があったら、それを書いていただければと思います。

—— そうですね。分かりました。ちょっと考えます。

(サブ F) では、次の方、いかがですか。

—— 私は、まず原子カムラということ自体が分からなかったんですよ。まず分からなかったというところから始まって。

あとは、やはり原子力専門家の集まりだと思います。

(サブ F) 専門家の集まりという付箋はありましたね。そこにシールを貼りましたか？

—— 専門家集団という意見は、前の班ではたくさん出ていました。

(総合 F) ファシリテーターの皆さん、あと 5 分です。

自分のご意見が入っていないという方には新しく書いて貼ってもらったり、そういうことをしていただければと思います。

—— 我々にはなかなか伝わってこないもので、とても分かりにくい世界です。

(サブ F) 何が伝わってこないのですか？

—— どういうことをされているのかが伝わってこない。

(F) 原子カムラという言葉の定義とかイメージは、マスコミが使っているだけであって、確かな定義はないので、それで、皆がどう思っているかというイメージを今書いているわけですね。

(サブ F) そうです。何が伝わってこないと書きましょうか？

—— まずは、原子カムラというものが分からなかったです（〔言葉がわからなかった〕）。

(サブ F) では、それを書いていただけますか。

—— 言葉自体が、ということですね。

(サブ F) では次の方、他の方のご意見を聞いて、何かありましたか？

—— 今のお話を聞いて、やはり〔言葉だけが一人歩きしている感じがする〕のですね。言葉のマジックというか。私はこれも書いたのですが、内部のモノは原子カムラという意識がないのですよ。

例えば、ある方は電力会社は入らないんじゃないかと言ひ、またある方は入るんじゃないかと言ったり。原子力に携わっている人の中でも、研究者は誇りを持った専門家なのですよ。でも、電力会社は単なる技術屋なので、専門家というよりは、体力で働く感じなのです。

なので、原子カムラと十把ひとからげにされても、実は、中にいる人たちも、「え、私？」という感じもあるし。逆に、きっと私はど真ん中なのだろうなと思ったりもする。そういうところで、あまり意識がないなということがあります。

逆に、ムラの外の人たちは、こういう言葉を聞くと、なんだか分からないけど、こういう人たちが固まっている、何か閉じた世界なのかな。しかもその人たちだけでやっているから、詳しい話が外に出てこないし、分かんないし、と考えるということなのかなという気がします。

(サブ F) それは、ここにある〔閉鎖的〕とか、〔原子力についてよくわからないから生まれた言葉〕という表現で大丈夫ですか？ よろしいですか。

(F) 原子カムラというのはどこまで入るか分からないけど、その中でコミュニケーションとか、意思疎通とか、価値観があると。それが、世間から叩かれる、批判される、言葉狩りみたいな状態になっている。

それはムラとムラ以外の人との間のギャップなのか。ムラの中のいろいろな人たちの間でもギャップがあるのか。だから、「原子カムラ」とか「ムラびと」だと批判されているのもピンと来ないという意見が出たのかもしれないし。ムラの外から、「お前はムラびとね」と言うけど、本当にそんなムラがあるのか。極端な話、ムラが存在するのか。本当にギャッ



プがあるのか。ムラとムラの外のギャップなのか。

ムラの中ですら、同じ価値観がないような。超えていないものがいっぱいあるのではないかなと。原子力ムラの中で、コミュニケーションがあるんですか？ 村の中でも、電力会社と官庁、または研究機関とか、いろいろとギクシャクしているところ、ちぐはぐがあるのではないかなと。

(サブ F) そのご意見は、ここに出ていますか？

(F) 出っていないので、

(サブ F) では、書いてください。

(F) 原子力の仲間内で越えなければいけない壁があるのではないかと思います（〔原子力関係者で越えるコミュニケーション〕）。

(サブ F) では、それを書いてください。

他にご発言はいかがですか？ 新しく加わった付箋に対しても、共感するものがあつたら、またシールを貼っていただければと思います。

(総合 F) 時間になりました。皆さん、シールをたくさん貼っていただいたと思います。貼り足りない方はさっと貼っていただいて、3番目のグループに移動の準備をしてください。

—— 次の回で、私はここでファシリテーターをしなくちゃいけないのですが、どう話したらいいか分からないくらい、漠然としていますよね。

(サブ F) それについては3回目が始まったらまたご説明をいたしますので。とりあえず、ご自分の意見に同感するものがありましたら、シールをお貼りください。もう移動しますので。よろしいですか。

(総合 F) 3回目のグループに移動を始めてください。

<終了>